

SARS アラート (SARS の可能性を考慮し、迅速な診断、感染予防措置を開始する場合)

「SARS アラート」は、非定型肺炎や呼吸窮迫症候群 (RDS) の原因として、SARS が除外されるまでの間に、適切な感染制御対策と公衆衛生上の対策が確実に取られるように作られた、対策実施上の定義である。

SARS 再興の可能性を早期に注意喚起し、迅速に適切な感染制御対策手法を導入し、対象の患者の迅速な診断を督促し、公衆衛生上の (感染拡大の防止) 対策を開始すると共に、必要に応じて、世界的警戒体勢を喚起することを目的としている。

SARS アラートの定義

同一の医療機関内で 10 日間に、複数の医療従事者が 2 - 2 章の A を満たす急性の呼吸器感染症を発症した場合

あるいは

同一の医療機関に関連した医療従事者を含む職員、患者、来訪者のあいだで、10 日間に 3 人以上が 2 - 2 章の A を満たす急性の呼吸器感染症を発症した場合

* 病院が大きい場合は、ひとつの科、あるいは病棟が対象となる

感染予防策

レスピラトリー・エチケット

発熱や咳などの上気道感染症状があり、病原体を周囲に拡散する恐れのある人がマスクを着用したり、ティッシュやハンカチなどで咳やくしゃみをする際に鼻と口の周りを覆うなどにより、病原体の拡散を防止し、感染伝播を防ぐこと。咳やくしゃみをした時に、手で覆った場合には手を洗うことも含む。

標準予防策

すべての患者を対象として行う。

- 1) 血液、体液、分泌物、排泄物、汚染物に
 - ・触れた際の手洗い・手指消毒
 - ・触れる際の手袋の着用
- 2) 特に体液、体物質が飛散して、目、鼻、口や、衣類を汚染しそうな時には、マスク、フェイスシールド、ガウンを適宜着用

飛沫感染予防策

大飛沫粒子で伝播する重篤疾患に対して行う。

- 1) 標準予防策
- 2) 入院時には個室隔離、あるいは患者が複数の場合は同一の病室に収容(コホーティング)
- 3) 患者に近接する際(1～2m)は、サージカル・マスクを着用

空気感染予防策

空気媒介性飛沫核で伝播する重篤疾患に対して行う。

(飛沫核感染予防策)

- 1) 標準予防策
- 2) 患者は個室隔離が必要で入室時には N95 マスクを着用する
- 3) 患者に接触する時には、ガウンを適宜着用する

個人防御用具(Personal Protective Equipment, PPE)

- 1) N95 またはそれに準じたマスク
- 2) 手袋
- 3) アイプロテクション、フェイスシールドなどの眼の防御用具
- 4) ガウン
- 5) 靴カバー(オプション)

SARS 再発の可能性が高いと考えられる地域

ここで記載する地域は、それぞれに付帯した説明に示した様な根拠をもって、感染症情報センターが独自に SARS の再発生の可能性が高いと判断したものである。非流行期において、SARS の可能性の高い患者数少しでも絞り込み、対策をとりやすくするために、過去の感染伝播地域であったこと、感染伝播の経路、発生の状況、現在までに分かっているサーベイランスを始めとした、疫学的、公衆衛生学的要因から判断した。

- ・ 中国本土： SARS コロナウイルスの起源・発祥地域であるため、再度同様に環境あるいは動物宿主などからの再発生の可能性が高い
- ・ 香港特別行政区： 中国本土から直接往来する者の数が多いため、この地区で第 1 例、あるいはクラスターの形で発症を見る可能性がある
- ・ 台湾： 中国本土から直接往来する者の数が多いため、この地区で第 1 例、あるいはクラスターの形で発症を見る可能性がある